

冬になると会える、幸せの青い鳥

冷え込みが厳しい朝に森内を巡視していると、第一駐車場の近くで「ヒッ、ヒッ」という小鳥のさえずりが聞こえてきました。背中が瑠璃色、脇腹はオレンジ色のコントラストが鮮やかな鳥、ルリビタキのオスです。

ルリビタキはスズメと同じくらいの大きさで、枝に止まるとは尻尾を小さく振っています。人懐こい性格で、散歩する人が近くにいても、他の枝や杭に飛び移るだけで離れていきません。メスは体全体が茶色っぽく、オスほど鮮やかではありませんが、オス同様に脇腹がオレンジ色で尻尾が少しだけ瑠璃色をしています。動物界では、メスよりもオスの方がカラフルであったり、ライオンのたてがみのように派手だったりします。これは、オスがメスにアピールするため、つまりは子孫繁栄のための自然の法則なのでしょう。

ルリビタキは北海道や本州、四国の標高の高い山に生息していますが、冬になると中部地方以南の山麓や丘陵地で越冬します。陶史の森は野鳥の越冬地に適していて、この時期になるとジョウビタキやコガモなどにもお目にかかることができます。

ますます寒くなってきましたが、健康づくりのためにも、冬にしか出会えない野鳥や雪を頂く山々を見に陶史の森へお出掛けください。



ルリビタキ (オス)



ルリビタキ (メス)

森	の
日	記

陶史の森 ウォークラリー大会
11月2日(土)



県レクリエーション協会主催のウォークラリー大会が開催され、家族連れや仲良しグループなど約70人が参加しました。参加者は、地図を頼りに遊歩道のあちこちに設置された【問題】を探し、クイズに答えたり山の上から大声で叫ぶ課題に取り組んだり、楽しそうに散歩していました。

ゴールした後、参加賞をもらってみんな笑顔に。ちびっこ広場では、ラダー・ゲッターやフリスビー・ストラックアウトなどの楽しいレクリエーションにも挑戦しました。

3年後をめどに、土岐市レクリエーション協会を立ち上げる計画もあるそうです。楽しみです。

教室のご案内

1月

バードウォッチング (自由参加、雨天中止)
1月26日(日) 9:00~11:30
厳冬の野鳥を観察します。

2月

バードウォッチング (自由参加、雨天中止)
2月23日(日) 9:00~11:30
厳冬の野鳥を観察します。

ネイチャーセンターでは、ご希望の方に双眼鏡や野鳥図鑑を貸し出しています。気軽に声を掛けてください。

カラー版『陶史の森 “散策” MAP』を
発行しました!

とても見やすいA3カラー版「陶史の森 “散策” MAP」を、ネイチャーセンターで無料配布しています。健康増進のためのウォーキングやハイキングなどに、ぜひご活用ください。

